

株式
会社 **ムサシ**
証券コード:7521

 **MUSASHI**

Financial Report **2024**

第103期
年次報告書

2023年4月1日～2024年3月31日



代表取締役社長

羽鳥 雅孝

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第103期年次報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

業績の概要

当社グループでは、文書のデジタル化事業や印刷機材、貨幣処理機器やセキュリティ機器、および紙・紙加工品などの販売に注力するほか、昨年4月に実施された統一地方選挙や各地方選挙向け機材の販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高331億40百万円(前年同期比10.6%減)、営業利益10億77百万円(前年同期比58.9%減)、経常利益11億23百万円(前年同期比58.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益7億67百万円(前年同期比56.4%減)となりました。

対処すべき課題

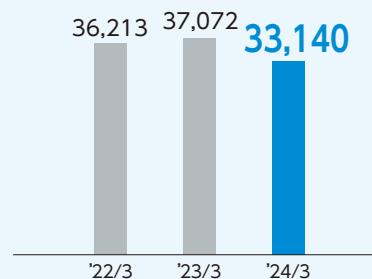
選挙システムでは、自治体情報システム標準化仕様に準拠する選挙用業務管理ソフトの対応を進めてまいります。仕様の統一やクラウド化等の対応を進めることで自治体の住民情報システムの標準化・共通化を支援します。

印刷業界ではデジタル化による紙メディア需要減少の影響で機器・材料の需要が縮小傾向にあり、機器・材料ともに販売が厳しい市場環境にあります。今後は、印刷システム機材分野における収益性の向上を図るため、商品力を向上させるレーザー加工機や多目的インクジェットプリンターなど特徴ある商品や自社開発ソフトウェアの拡販に注力するとともに、印刷物とデジタルの融合を提案することで、競合優位性を構築し、他社との差別化と直販力を強化してまいります。

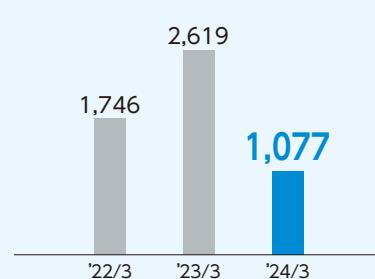
紙・紙加工品分野では、印刷用紙の需要減少が続いているため、市場変化の影響を受け難い、特殊機能・高付加価値を持ったオリジナル商品を開発・商品化することにより、採算性重視の受注とコスト削減により、収益性の改善に取り組んでまいります。

財務ハイライト

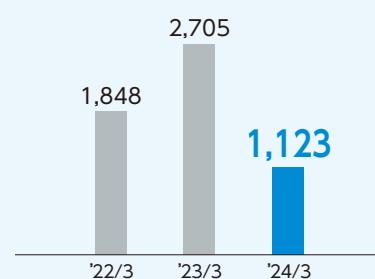
▶ 売上高 (単位:百万円)



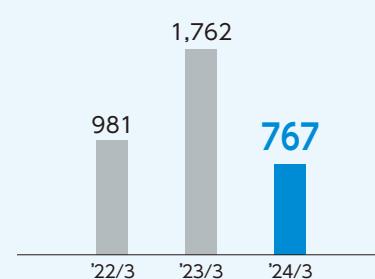
▶ 営業利益 (単位:百万円)



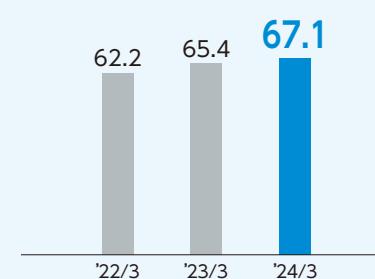
▶ 経常利益 (単位:百万円)



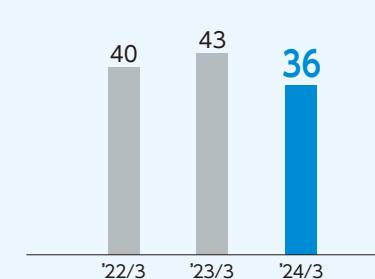
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



▶ 自己資本比率 (単位:%)



▶ 1株当たり配当金 (単位:円)



選挙機器

『業務管理ソフト』の自治体情報システム標準化を オンラインセンターでサポート

デジタル庁において、自治体情報システムの標準化という取り組みが進行しています。

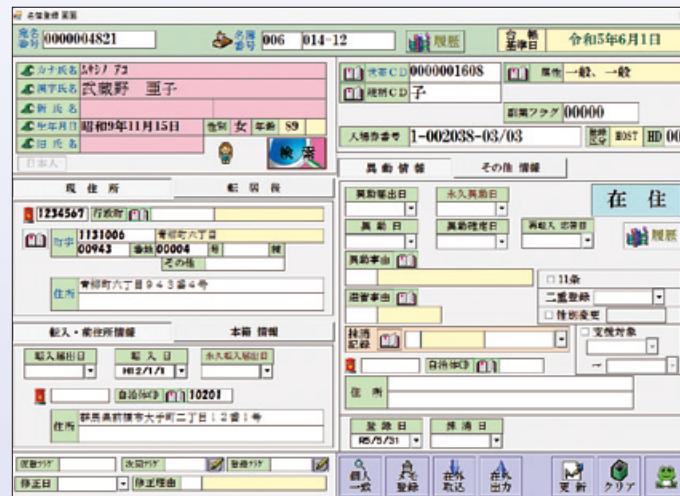
当社は、「業務管理ソフト」のうち、住民基本台帳関連業務にあたる「名簿管理システム」「期日前投票システム」「当日投票システム」「在外投票システム」の4システムを標準化に準拠させ、市民サービスのデジタル実装をサポートしています。

デジタル実装が進むと、期日前投票所や当日投票所でマイナンバーを提示することで、(1)名簿対照の際、従来別窓口で一旦本人確認をしていた作業が無くなり待ち時間が短縮、(2)投票所投票入場券を持参する時間の削減というメリットがあります。

このたび、各自治体向けにオンラインセンターでのサポートも開始しました。

サポートセンターから専用線でガバメントクラウドへアクセスし、リモート操作によるシステム新規導入構築や、システムへの登録作業などを行い、新規導入から導入後のサポートまでトータルで支援します。

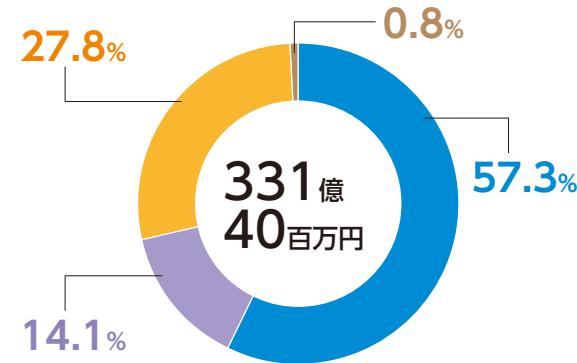
これからも当社は、地域の皆様の心ゆたかな暮らしと持続可能な環境・社会・経済に貢献してまいります。



名簿管理システム検索画面

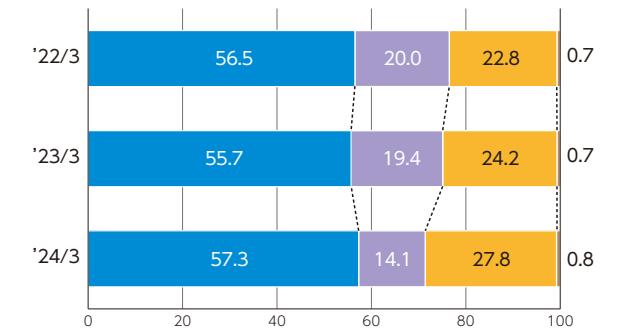
▶ 売上高 **331億40百万円** (2024年3月期)

売上高構成比



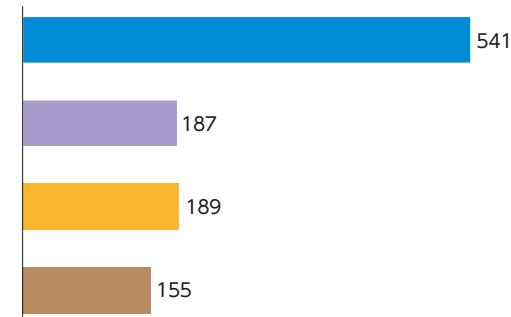
■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

売上高構成比の推移 (単位: %)



▶ 営業利益 **10億77百万円** (2024年3月期)

セグメント別営業利益 (単位: 百万円)



■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

もっと詳しく知りたい方は

<https://www.musashinet.co.jp/ir/financial/>

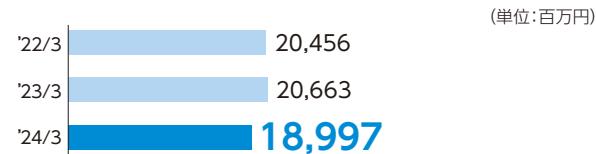
から業績ハイライトページをご覧ください。

ムサシ 業績ハイライト

検索



情報・印刷・産業システム機材

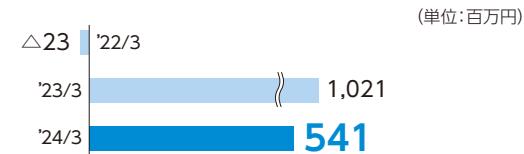
▶ 売上高 **189億97百万円**

情報・産業システム機材は、工業用検査機材の販売が点検業務需要を取り込み順調に推移しました。

一方、文書のデジタル化事業は官公庁・自治体からの大口案件の減少や収益性重視の受注などの影響により低調に推移しました。

また、業務用ろ過フィルターの販売は半導体等の需要減の影響を受けました。

印刷システム機材は、印刷機器の販売はPOD機器や多目

▶ 営業利益 **5億41百万円**

的インクジェットプリンターの販売が伸び概ね順調に推移しましたが、印刷材料の販売が需要減少の影響を受け低調に推移しました。

以上の結果、セグメント売上高は189億97百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

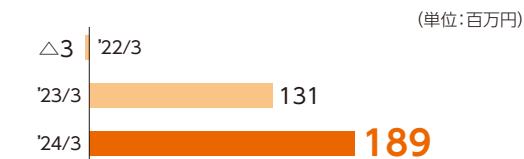
また、利益面では文書のデジタル化事業や業務用ろ過フィルターの減収の影響と、印刷材料の収益性が悪化し、営業利益は5億41百万円(前年同期比47.0%減)となりました。

紙・紙加工品

▶ 売上高 **92億14百万円**

紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙などの販売が伸び、順調に推移しました。印刷用紙や情報用紙の販売も概ね順調に推移しました。

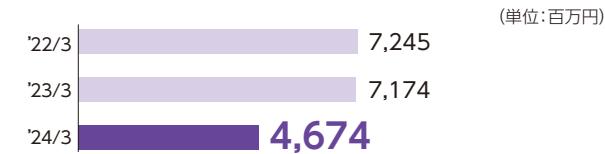
この結果、セグメント売上高は92億14百万円(前年同期

▶ 営業利益 **1億89百万円**

比2.3%増)となりました。

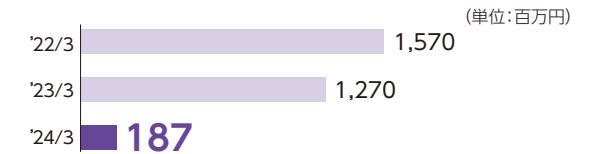
また、利益面では板紙と印刷・情報用紙の価格修正により販売価格が上昇し、収益性が改善され、営業利益は1億89百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

金融汎用・選挙システム機材

▶ 売上高 **46億74百万円**

金融汎用システム機材は、貨幣処理機器の販売が金融機関を中心に、新紙幣発行に伴う更新需要などを取り込み概ね順調に推移しました。

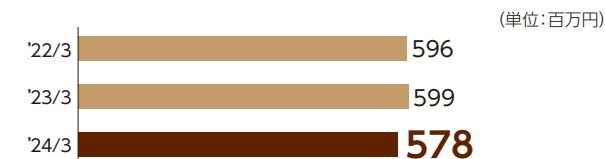
選挙システム機材は、統一地方選挙向けに投票用紙読取分類機などの選挙機器や、投開票管理システムの販売が概ね順調に推移しましたが、前年度実施された参議院選挙の実績に及ばず前年実績を下回りました。

▶ 営業利益 **1億87百万円**

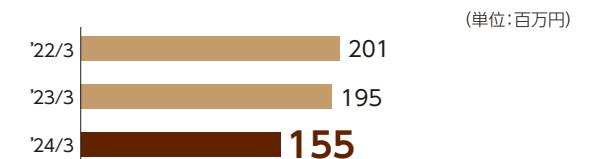
以上の結果、セグメント売上高は46億74百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

また、利益面では選挙システム機材の減収影響を受け、営業利益は1億87百万円(前年同期比85.2%減)となりました。

不動産賃貸・リース事業等

▶ 売上高 **5億78百万円**

不動産賃貸・リース事業等の業績は概ね順調に推移し、売上高は5億78百万円(前年同期比3.5%減)、営業利益は1億55百万円(前年同期比20.1%減)となりました。

▶ 営業利益 **1億55百万円**

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第103期 2024年3月31日現在	第102期 2023年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	32,436	32,751
2 固定資産	12,594	11,141
有形固定資産	3,887	3,816
無形固定資産	111	168
投資その他の資産	8,595	7,157
資産合計	45,031	43,893
(負債の部)		
3 流動負債	12,033	12,677
4 固定負債	2,799	2,516
負債合計	14,832	15,194
(純資産の部)		
株主資本	28,707	28,178
その他の包括利益累計額	1,490	519
5 純資産合計	30,198	28,698
負債・純資産合計	45,031	43,893

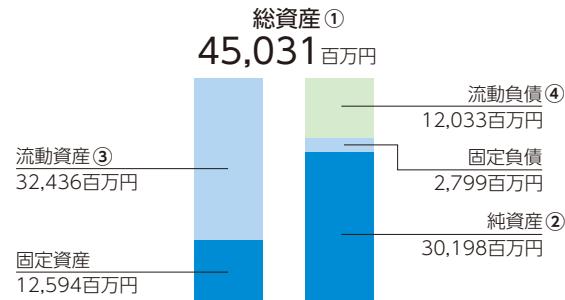
当期末総資産

自己資本比率(財務の健全性)
=②÷①×100

67.1%

流動比率(短期の支払能力)
=③÷④×100

269.6%



ポイント

資産

1 流動資産

- 増加の主要因
 - ・棚卸資産の増加 5億36百万円
 - ・関係会社短期貸付金の増加 30億円
- 減少の主要因
 - ・現金及び預金の減少 40億15百万円

2 固定資産

- 増加の主要因
 - ・株価上昇等による投資有価証券の増加 7億34百万円
 - ・退職給付に係る資産の増加 7億11百万円

負債

3 流動負債

- 減少の主要因
 - ・仕入債務(「支払手形及び買掛金」及び「電子記録債務」)の減少 2億11百万円
 - ・未払法人税等の減少 4億9百万円

4 固定負債

- 増加の主要因
 - ・繰延税金負債の増加 4億13百万円
- 減少の主要因
 - ・固定負債の「その他」の減少 1億円

純資産

5 純資産

- 増加の主要因
 - ・親会社株主に帰属する当期純利益 7億67百万円
 - ・その他の包括利益累計額の増加 9億70百万円
- 減少の主要因
 - ・剰余金の配当 2億38百万円

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第103期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	第102期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高	33,140	37,072
売上原価	25,052	27,628
売上総利益	8,087	9,444
販売費及び一般管理費	7,010	6,824
営業利益	1,077	2,619
営業外収益	117	134
営業外費用	71	48
経常利益	1,123	2,705
特別利益	27	—
特別損失	—	15
税金等調整前当期純利益	1,150	2,690
法人税、住民税及び事業税	392	797
法人税等調整額	△9	130
当期純利益	767	1,762
親会社株主に帰属する当期純利益	767	1,762

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第103期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	第102期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	△322	1,590
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,372	△10
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△324	△390
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,015	1,190
現金及び現金同等物の期首残高	19,686	18,495
現金及び現金同等物の期末残高	15,670	19,686

ホームページでさらに詳しい情報をご覧いただけます。

<https://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



IR情報トップページ

業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧いただけます。最新の株価などもご確認いただけます。

より使いやすいサイトを目指してまいります。

ポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 収入の主要因
 - ・税金等調整前当期純利益 11億50百万円
 - ・減価償却費 3億95百万円
- 支出の主要因
 - ・退職給付に係る資産の増加 63百万円
 - ・棚卸資産の増加 5億36百万円
 - ・仕入債務の減少 2億12百万円
 - ・その他の流動負債の減少 1億62百万円
 - ・法人税等の支払額 8億32百万円

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

- 支出の主要因
 - ・有形固定資産の取得による支出 3億80百万円
 - ・貸付による支出 30億円

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 支出の主要因
 - ・配当金の支払 2億38百万円

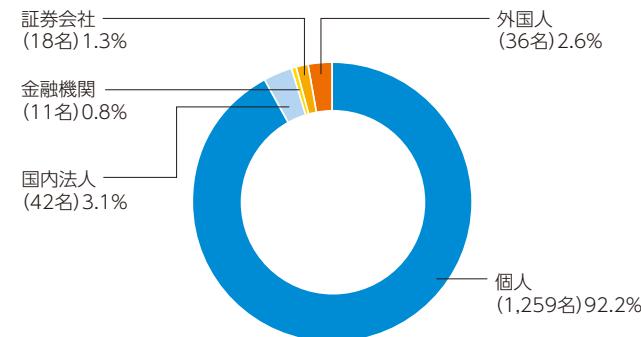
発行可能株式総数 28,920,000株
 発行済株式の総数 7,950,000株
 株主数 1,366名

大株主

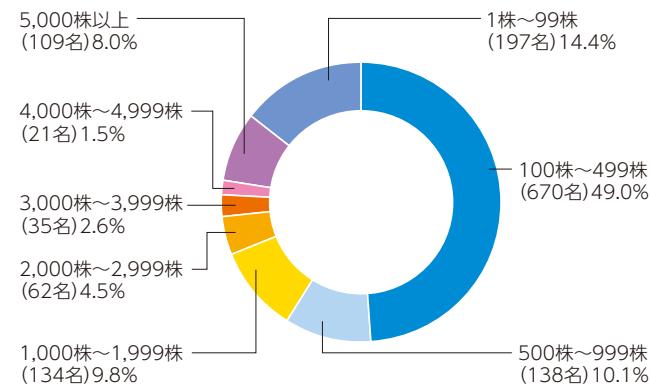
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	20.4%
ショウリン商事株式会社	897	13.2
光通信株式会社	332	4.9
ムサシ社員持株会	322	4.7
ムサシ互助会	299	4.4
株式会社日本カストディ銀行 信託口	276	4.1
小林厚一	237	3.5
株式会社三井住友銀行	173	2.6
株式会社みずほ銀行	160	2.3
EUROPEAN DEPOSITARY BANK SA-DUBLIN-BUTTERMERE DEEP VALUE FUND LIMITED	151	2.2
羽鳥雅孝	137	2.0

(注) 持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
 当社は自己株式1,135千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別状況 (株主数)



株式の所有株数別状況 (株主数)



商号 株式会社ムサシ
 設立 1946年12月
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
 資本金 1,208,500,000円
 従業員数 連結528名/単体193名 (2024年3月末現在)

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社三菱UFJ銀行

関係会社 武蔵エンジニアリング(株)
 ムサシ・フィールド・サポート(株)
 エム・ビー・エス(株)
 エフ・ビー・エム(株)
 (株)ムサシ・イービーシー
 ムサシ・イメージ情報(株)
 ムサシ・アイ・テクノ(株)
 武蔵興産(株)
 (株)武蔵エンタープライズ
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員 代表取締役会長 小林 厚一
 代表取締役社長 羽鳥 雅孝
 取締役副社長 小野 貢市
 専務取締役 小林 将治
 専務取締役 羽鳥 智紀
 取締役 五島 真一
 取締役 山本 義明
 取締役 村田 一則
 取締役 西沢 一
 取締役 森山 明彦
 取締役 横尾 孝之
 取締役 池田 哲郎
 社外取締役 高原 巨章
 常勤監査役 小林 佳典
 常勤監査役 矢島 謙樹
 社外監査役 安藤 信彦
 社外監査役 赤石 健

事業所

- ▶ 本社
- ▶ 東京第一支店・東京第二支店
- ▶ 紙・紙加工事業部・海外営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
- ▶ 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号
- ▶ 仙台支店
仙台市青葉区本町一丁目11番2号
- ▶ 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地
- ▶ 東関東支店
千葉市中央区新町18番地10
- ▶ 神静支店
横浜市磯子区森二丁目2番2号
- ▶ 名古屋支店
名古屋市中区栄四丁目14番2号
- ▶ 大阪支店
東大阪市長田中三丁目6番1号
- ▶ 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号
- ▶ 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号
- ▶ 新潟営業所
- ▶ 茨城営業所
- ▶ 静岡営業所
- ▶ 浜松営業所
- ▶ 北陸営業所
- ▶ 岡山営業所
- ▶ 高松営業所



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問合せ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問合せ	右記みずほ信託銀行までお問合せ願います。	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問合せ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問合せ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問合せ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	



公 告 方 法 電子公告 (<https://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

定時株主総会 に関するご報告

定時株主総会に関する決議ご通知につきましては、当社ホームページにてご案内しております。
<https://www.musashinet.co.jp/ir/docs/meeting.html>

株式に関するマイナンバー制度のご案内

株式の税務関係のお手続のため、株主様からお取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められた通り、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書
・配当金に関する支払調書
・株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社までお問合せください。

証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

上記、株主名簿管理人までお問合せください。

株式
会社 **△サシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号
TEL.03-3546-7711
<https://www.musashinet.co.jp/>